



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月8日

上場会社名 丸一鋼管株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5463 URL http://www.maruichikokan.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼CEO (氏名) 鈴木 博之
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長 (氏名) 河村 康生 (TEL) 06-6531-1201
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	101,110	△9.3	19,133	52.0	20,274	43.3	13,920	34.3
28年3月期第3四半期	111,493	△2.2	12,589	△9.2	14,145	△8.9	10,367	0.4

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 14,381百万円(468.8%) 28年3月期第3四半期 2,528百万円(△84.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	168.24	168.08
28年3月期第3四半期	123.53	123.42

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	291,532	249,780	82.5
28年3月期	294,871	241,878	78.7

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 240,438百万円 28年3月期 232,187百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	25.00	—	52.00	77.00
29年3月期	—	25.00	—		
29年3月期(予想)				54.50	79.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	136,800	△5.6	23,400	37.4	24,800	30.9	16,900	51.1	204.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	94,000,000株	28年3月期	94,000,000株
29年3月期3Q	11,255,535株	28年3月期	11,255,369株
29年3月期3Q	82,744,564株	28年3月期3Q	83,924,291株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、公共投資や住宅投資が堅調であった半面、円高の影響から輸出が減少するなど一進一退の状況が続きました。一方、海外では、米国経済は企業業績、雇用や個人消費などの回復傾向が持続しましたが、英国のEU離脱時期、中国景気の減速及び米国新大統領の経済施策の影響など、景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

鉄鋼業界は、下期に入って原料高を要因とする先高感から荷動きが出て参りましたが、パイプ業界においては需要が盛り上がりせず、上期に引き続き低調に終わりました。一方、海外は中国の減産や米国をはじめとする鉄鋼製品の輸入制限措置などで、市況は値上げ基調を維持しております。但し、今年度下期は地域セグメントにより状況の異なりが見られます。

(日本)

国内事業につきましては、建材を中心に第3四半期は前年比若干の数量増となりましたが、原料高及び需給逼迫を受けた国内外高炉のコイル価格の値上げ圧力は強く、材料コストが上昇しました。製品価格に転嫁すべく値上げに鋭意取り組みましたが、鉄鋼全般の需要が盛り上がりえない中での値上げは難しく、見込んでいたレベルには届いておりません。以上により、前年比販売単価の大幅下落もあり国内事業の売上高は653億8百万円（前年同期比5.8%減）となりました。一方、昨年は製品の値下がりでも悪化したセグメント利益は今期は145億7千2百万円（前年同期比17.7%増）に回復しております。

(北米)

北米事業につきましては、マルイチ・レビット・パイプ・アンド・チューブLLC社の前年比で販売数量の減少と価格低下などにより、売上高は171億9千5百万円（前年同期比16.0%減）と減少いたしました。米国製品市況の上昇によるスプレッド回復により、他の連結子会社3社を含めたセグメント利益は20億9千7百万円（前年同期はセグメント損失5億9千1百万円）と黒字転換いたしました。

(アジア)

アジア事業につきましては、ベトナムのマルイチ・サン・スチール・ジョイント・ストック・カンパニー（SUNSCO社）では、ベトナム市場及び輸出市場の競争激化から前年比で販売価格低下のため、売上高は186億6百万円（前年同期比14.4%減）と減少いたしました。中国の鉄鋼製品の値上がりにより東南アジアの鋼材市況が回復し、セグメント利益は23億5千4百万円（前年同期比257.4%増）と増加いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高は1,011億1千万円（前年同期比9.3%減）、営業利益は191億3千3百万円（前年同期比52.0%増）、経常利益は202億7千4百万円（前年同期比43.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は139億2千万円（前年同期比34.3%増）となりました。

なお、対米ドル換算レートは1米ドル108円69銭であります。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は2,915億3千2百万円（前年度比33億3千8百万円の減少）となりました。

主な内容は、流動資産については、譲渡性預金が満期になったことにより有価証券が213億2千8百万円減少、現金及び預金が170億7千8百万円増加し、受取手形及び売掛金が22億3百万円増加したことなどにより流動資産合計で29億5千9百万円減少いたしました。固定資産については、株式市場の時価上昇により投資有価証券が48億8千7百万円増加しましたが、46億2千6百万円の減価償却の実施などにより、固定資産合計で3億7千9百万円減少いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は417億5千1百万円（前年度比112億4千万円の減少）となりました。

主な内容は、支払手形及び買掛金が40億2千万円、未払法人税等が25億1千6百万円、短期借入金が23億5千7百万円減少したことにより、流動負債合計で102億7百万円減少いたしました。固定負債については、長期借入金が27億9千6百万円減少しましたが、繰延税金負債が16億8千万円増加したことにより、固定負債合計で10億3千3百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は2,497億8千万円（前年度比79億1百万円の増加）となりました。

主な内容は、利益剰余金が配当金の支払63億7千1百万円に対して親会社株主に帰属する四半期純利益139億2千万円により75億4千9百万円増加し、その他有価証券評価差額金が52億3千4百万円増加いたしました。為替換算調整勘定が45億4千6百万円減少したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年11月8日に公表いたしました業績予想の修正を行っております。詳細につきましては、本日開示しております「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

セグメント別の今後の見通しについては、以下のとおりです。

(日本)

国内事業につきましては、一部の建築向け製品の需要が今後プラスに転じる気配があることに加え、市況先高感から間屋筋の在庫積み増しの動きも出てくるものと思われ、今後見込まれるオリンピック関連などの建築需要の取り込みに注力してまいります。先行して急激な値上がり続けるコイル価格に対して、製品への転嫁のスピードと幅が追い付かず、収益の悪化が懸念されます。

(北米)

北米事業につきましては、第3四半期に反落した鋼材価格が、新大統領の経済施策を好感して昨年末より再度上昇しております。需要の取り込み及びコイル価格値上がり幅の完全転嫁に注力してまいります。

(アジア)

アジア事業につきましては、ベトナムSUNSCO社では、高品質な製品を供給することで、ベトナム国内及び近隣国への販売体制の強化を図ってまいります。また、インドのマルイチ・クマ・スチール・チューブ・プライベート・リミテッドでは、インド北部と南部にある2工場での生産数量および販売数量の増加と、昨年9月に設置した4インチの薄肉造管機によるトラック・バスなどの大型車の排ガス規制に対応した径の大きな特殊排気管の需要への対応に努めてまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間における四半期連結財務諸表への影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	65,279	82,358
受取手形及び売掛金	30,643	32,846
有価証券	25,064	3,736
製品	8,986	8,446
原材料及び貯蔵品	13,540	13,589
その他	4,464	4,044
貸倒引当金	△28	△29
流動資産合計	147,951	144,992
固定資産		
有形固定資産		
土地	32,717	32,287
その他	52,114	47,771
有形固定資産合計	84,832	80,058
無形固定資産		
のれん	873	672
その他	1,295	1,034
無形固定資産合計	2,168	1,706
投資その他の資産		
投資有価証券	56,823	61,710
その他	3,096	3,065
投資その他の資産合計	59,919	64,775
固定資産合計	146,920	146,540
資産合計	294,871	291,532

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,857	13,836
短期借入金	9,301	6,944
未払法人税等	4,127	1,610
賞与引当金	861	561
役員賞与引当金	70	46
その他	6,076	5,087
流動負債合計	38,294	28,086
固定負債		
長期借入金	8,500	5,703
役員退職慰労引当金	77	67
退職給付に係る負債	3,093	3,189
繰延税金負債	2,794	4,475
その他	232	229
固定負債合計	14,698	13,665
負債合計	52,992	41,751
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,595	9,595
資本剰余金	15,821	15,821
利益剰余金	228,340	235,890
自己株式	△26,963	△26,964
株主資本合計	226,794	234,343
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,580	9,815
為替換算調整勘定	889	△3,657
退職給付に係る調整累計額	△77	△62
その他の包括利益累計額合計	5,392	6,095
新株予約権	122	144
非支配株主持分	9,569	9,196
純資産合計	241,878	249,780
負債純資産合計	294,871	291,532

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	111,493	101,110
売上原価	89,185	72,608
売上総利益	22,307	28,501
販売費及び一般管理費	9,717	9,368
営業利益	12,589	19,133
営業外収益		
受取利息	134	117
受取配当金	1,028	630
持分法による投資利益	563	570
不動産賃貸料	411	429
その他	174	282
営業外収益合計	2,312	2,030
営業外費用		
支払利息	266	188
為替差損	153	392
不動産賃貸費用	218	265
その他	118	43
営業外費用合計	756	889
経常利益	14,145	20,274
特別利益		
固定資産売却益	73	126
投資有価証券売却益	1,872	—
受取保険金	—	194
その他	1	—
特別利益合計	1,946	320
特別損失		
固定資産除却損	17	42
事故被害損失	—	194
その他	1	20
特別損失合計	18	257
税金等調整前四半期純利益	16,073	20,337
法人税等	5,707	5,493
四半期純利益	10,365	14,844
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2	923
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,367	13,920

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	10,365	14,844
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,418	4,074
為替換算調整勘定	△417	△4,672
退職給付に係る調整額	35	21
持分法適用会社に対する持分相当額	△2,036	113
その他の包括利益合計	△7,836	△463
四半期包括利益	2,528	14,381
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,873	14,623
非支配株主に係る四半期包括利益	△345	△242

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	日本	北米	アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	69,292	20,475	21,724	111,493	—	111,493
セグメント間の 内部売上高又は振替高	145	—	—	145	△145	—
計	69,438	20,475	21,724	111,638	△145	111,493
セグメント利益又は損失(△)	12,385	△591	658	12,452	136	12,589

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額136百万円はセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	日本	北米	アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	65,308	17,195	18,606	101,110	—	101,110
セグメント間の 内部売上高又は振替高	639	—	—	639	△639	—
計	65,947	17,195	18,606	101,750	△639	101,110
セグメント利益	14,572	2,097	2,354	19,024	108	19,133

(注) 1. セグメント利益の調整額108百万円はセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。